

第3回全体会協議を踏まえた対処方針及び計画への反映

No.	意見	対応方針・施策への反映	編-章-節 等
1	人口動態を目標とすることは良いが、第二次計画の期間の人口動態はどうだったのかというところを盛り込むべき。これまで（過去）はどうで、今後、反省点を生かして何をやっていくのかははっきりした方が市民にも分かりやすい。	まちづくりビジョン「目指すべき将来展望」において、令和17年時点で14.2万人以上を維持する将来目標人口を定めるとともに、その達成要素となる「合計特殊出生率」、「人口社会増減」については、平成22年からの実績と、令和17年に向けての目標値を併記することとします。	まちづくりビジョン
2	結局「なぜ出生率が上がらなかったのか」というところにフォーカスして、次はこういう施策を進めるべきということを示さないと、市民には伝わらない。「合計特殊出生率」や「人口社会増減」といった重要なKPIに対して、なぜ動かなかったのか、目標を下回ってしまったのかをきちんと振り返って、市民に示すことが重要。	序論「計画策定の背景」において、少子化、人口減少の急速な進行という社会情勢を取り上げ、出生率上昇、社会増を達成するためには、「誰もが自分らしく働くことができる雇用環境の整備や安心して結婚・出産・子育てができる社会環境の構築」が必要であることを明記します。 また、多様な価値観やライフスタイルを社会が受容し、市民一人ひとりが幸せを感じ、若い世代が将来に展望を持てる持続可能なまちづくりを進める重要性を示します。	序論
3	今回の第三次上田市総合計画では小学生からもアンケートを実施していることから小学生にもわかりやすい子ども向けの総合計画の作成についても検討いただきたい。	総合計画本体が完成した後、幅広く市民理解を拡げるために上田市出前講座などで使用する概要版資料や啓発用説明資料の作成を予定しています。 それらの作成にあたっては、平易な言い回しや、漢字へのルビ付与などを工夫することで、小学生を含めた多くの市民に分かりやすい表現となるよう努めます。	全体